

H31年度 校内研究について

H31.4.2（火）

文責：佐藤

1. 研究主題

主体的に学び，確かな学力を身に付ける児童の育成

～ 一人ひとりを生かす「主体的・対話的で深い学び」を通して ～

2. 研究主題設定の理由

今年度は，研究主題を「主体的に学び，確かな学力を身に付ける児童の育成」として取り組む。昨年度の算数科の研究における成果と課題をもとに，学級や一人ひとりの実態に応じた「主体的・対話的で深い学び」を通して，主体的に学ぼうとする態度や確かな学力を身に付けることができる児童の育成を目標とする。

これまでの3年間は，「活用力」の向上をねらい，様々な教科で「唐津市アクションプラン」を基にした指導法改善を行ったり，国語科と算数科を中心に「主体的な学習を生むための手立て」「自分の考えを持たせるための手立て」「自分の考えを表現する場の設定」という授業づくりの3つの視点をもって研究授業に取り組んだりしてきた。

昨年度の算数科の研究では，問題の内容や提示の仕方を工夫し児童の興味・関心を高めること，絵図，数直線，関係図などを活用し児童の思考力を高めること，児童の実態や授業のねらいに応じて話し合い活動を柔軟に設定すること等の手立てを明らかにすることができた。また，12月学習状況調査やCRTテストにおいて，課題であった「知識及び技能」の正答率が県や全国平均を上回った学年が多く，活用の場を通して基礎学力の定着をねらった授業改善はもちろん，スキルタイム，補充学習等も成果につながったと考えられる。

しかし，算数科に対して苦手意識をもっている児童の割合が大きいこと，自力解決で自分の考えをもち，図や文を工夫して表現できる力の個人差が大きいこと，話し合い活動で意見を出し合っているものの，まとめにつながっていないことがある等の課題も見つかった。また，学習状況調査やCRTテストにおいて，学年ごとに国語科と算数科によって，それぞれの領域によって課題がはっきり異なっていることが分かった。

そこで，本年度は，学級や児童の実態に応じて，算数科と国語科の「主体的・対話的で深い学び」を実現するための手立てや「主体的・対話的で深い学び」の支えとなる集団づくりのための手立てを工夫し，児童の主体的に学ぼうとする意欲を高め，確かな学力を身に付けさせることをねらい，本主題を設定した。

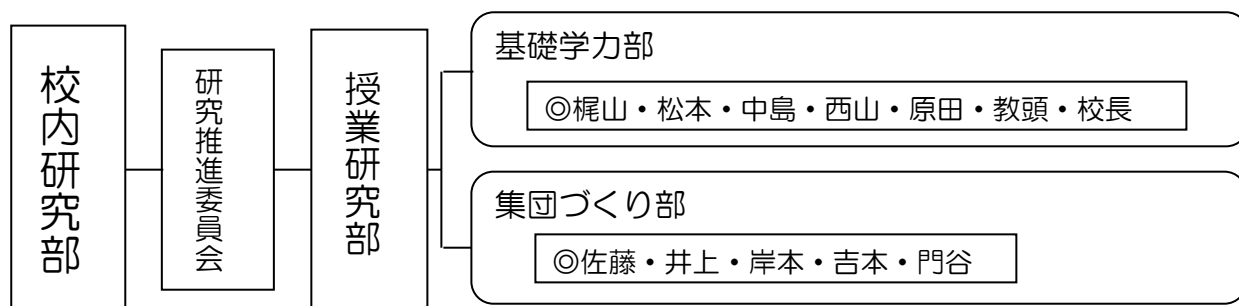
3. 研究の目標

国語科と算数科における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を意識した授業実践を行ったり，それらの学びの支えとなる基礎学力の定着や集団づくりに向けた手立てを工夫したりすることにより，主体的に学び，確かな学力を身に付けた児童の育成を目指す。

4. 研究の内容

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現のための理論の整理
- (2) 授業研究会の実施と検討
- (3) 学びを土台となる基礎づくりの充実
 - 基礎学力定着に向けた特設タイムの実施や活用に関する問題への対策
 - 帰属意識の高い学級，規範意識の高い学級，互いに高め合える学級づくり
- (4) 学力の変容についての調査並びに児童の意識調査

5. 研究組織



6. 各会・各部の活動内容

- (1) 研究推進委員会について
 - 校長，教頭，教務，研究主任，研究副主任，学力向上コーディネーターの5名
 - 毎月 第1月曜日 16：15～（於 校長室）
 - 全体の方向性の確認と各部の取り組み状況の把握
- (2) 学びを実現する授業研究部について
 - 低・中・高学年 G を基本とした全職員による。
 - 全員授業（1人1回）
 - ・全校研2（国語科・算数科のグループからそれぞれ1学年ずつ）
 - ・グループ研6（全校研以外の学年，特別支援学級2…国語科・算数科のどちらかに入る）
 - 「主体的学び」「対話的学び」「深い学び」の姿を見るシートの作成と活用
 - 「主体的・対話的で深い学び」についての理論研究
 - 指導案検討会
 - 研究のまとめ〔冊子〕
- (3) 学びを支える基礎学力部について
 - チャレンジタイム
 - ・火…8：15～8：30
 - ・児童が自分の課題に応じてプリントを選択し，達成度が確認できるような手立てをとる。

○週末課題

- ・4年生以上を対象に、活用問題の家庭学習用プリントに取り組みさせる。
- ・教務、教頭、校長を中心に、問題作成、配布、添削、模範解答掲示のお世話をする。

○各テスト分析

- ・学習状況調査とCRT学力調査で行う。
- ・分析に必要な資料（各種データ、分析カード等）を用意する。

○学習環境整備

○基礎学力テスト

- ・2学期と3学期の初めに国語と算数の問題を用意する。

(4) 学びに向かう集団づくり部について

○スピーチタイム

- ・金…8：15～8：30
- ・話したり聞いたりして伝え合う力を高める活動に取り組みさせる。
（これまでのスピーチに限らず、ソーシャルスキルトレーニング等も）
- ・ねらいと内容、進め方を提案する。

○人間関係に関するアンケート調査

- ・Q-U分析に必要な資料を用意する。
- ・年度末に2回目のアンケートを行う。（アンケート作成）

○よりよい人間関係づくりの手立て

- ・全校で取り組む活動を提案したり紹介したりする。
（例）〇〇の木、スターシールなど
- ・各学級で取り組む活動を提案したり紹介したりする。
（例）今日のMVP、キラリ貯金など

※各部の取り組みについては、校内研、連絡会等での提案し、共通理解を図る。